

梅雨前線に伴う降雨による防災情報(第1報)

新庄河川事務所では、7月26日 0時00分、立谷沢川流域の玉川第6ダム雨量観測所において、時間雨量が40mmを超えたため、災害対策支部(警戒体制・砂防)を設置しました。

今後、天候の状況を見て同流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

7月26日(金) 0時30分 災害対策支部(警戒体制・砂防)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害のおそれがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害のおそれがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害のおそれがある場合

2. 雨量情報(7月26日 0時00分現在)

[立谷沢川流域]

玉川第6ダム雨量観測所 連続雨量56mm(降雨継続中)

0時00分 時間雨量41mm

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

調査課長 荒澤 慎一(内線351)